

社団法人韓国後継農業経営人務安郡連合会の来訪について（報告）

令和7年2月7日

公益財団法人日本食肉流通センター

2月5日に社団法人韓国後継農業経営人務安郡連合会の30名の方々が研修でセンターを訪れました。この連合会は福祉農漁村の発展目的に設立された韓国の農業団体で、今回の務安郡の皆さんは肉牛農家を中心に韓牛の生産者もおられます。

まず、センター内の食肉加工室、枝肉冷蔵庫を見学し、「枝肉はどこから来るのか」など熱心に質問され、和牛枝肉を見て歓声も挙げておられました。次に川崎マリエン10階の展望室からセンター全景を見ました。「富士山はどこ？」や「羽田空港だ」などと周りの風景に興味津々でした。

次に、センターの会議室に戻り、当センターの川合理事長から、続いて連合会のパク会長から挨拶があり、その後、小林専務理事から当センターの業務内容と牛肉の流通構造・流通経費節減について説明しました。



質疑応答では、「韓国では韓牛の不適切な表示販売がある。日本の和牛はどうか？」、「韓国ではエサ代が上がっているのに生産者の価格が下がっている。でも消費者の価格は下がらないが、日本はどうか？」などの質問があり、活発な意見交換をしました。



中央の白い服の方がパク会長、その向かって右がセンターの川合理事長